

資 料 提 供

2024年8月23日

智頭急行株式会社

普通列車のデットマンブレーキ装置が機能しない状態で走行した事象について

《20時00分現在》

1 発生日時 2024年8月23日（金）午前11時45分頃

2 発生場所 智頭線 大原駅～上郡駅

3 概 況

8月23日正午ごろ、当該運転士は走行中に変速装置が切り替わらないことに気付き、上郡駅で運転台を交換して機器点検をしたところ、「速度検出」のブレーカーが「切」となっていました。

その後、ブレーカーを「入」として、通常に運転しました。

- ・「速度検出」とは、車軸の回転から車両の走行速度を判定する機器のことで、運転台にある速度計とは別の回路です。
- ・デットマン装置とは、運転士が気を失うなどしたときに自動的に列車を停止させる装置です。運転席の床面に設置された足踏みスイッチが5秒以上踏まれていない状態になると、自動的に非常ブレーキが動作し列車を停止させます。
- ・その他の運転機器、保安装置には異常はありません。
- ・この事象による速度超過はありません。

4 原 因

前日の検査終了時の速度検出ブレーカーの入れ忘れ及び出区点検時での速度検出ブレーカーの確認漏れです。

5 対 策

検査終了後及び出区点検時に速度検出ブレーカーの確認を徹底します。

6 影 響

列車運行への影響はありませんでした。

列車運行の最新情報については、弊社ホームページにてご確認ください。
なお、この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

智頭急行株式会社 運輸部
(0858) 75-2595